

平成 年 月 日 税務署長殿		所管	業種目	概況書	要否	別表等	個別帰属一連番号
所在地	電話() -	事業種目	期末現在の資本の金額又は出資金額	円	※	連結グループ整理番号	
(フリガナ) 連結法人名		経理責任者自署押印			税務署	整理番号	
(フリガナ) 代表者自署押印		旧所在地及び旧法人名			処	連結事業年度(至)	年 月 日
代表者住所		添付書類	貸借対照表、損益計算書、損益金処分表、勘定科目内訳明細書、組織再編成に係る契約書等の写し、組織再編成に係る移転資産等の明細書		理	売上金額	兆 十億 百万
連結親法人名及び納税地					欄	届出年月日	年 月 日
						申告区分	庁指定 局指定 指導等 区分
						通信日付印	確認印
						省略	年度処理 直前事業
						年 月 日	年 月 日

平成 年 月 日

別表等要否 要 否

連結事業年度分の

申告に係る届出書

平成 年 月 日

税理士法第30条の書面提出有

		十億	百万	千	円			十億	百万	千	円						
個別所得金額又は個別欠損金額(別表四の二付表「47の①」+別表七の二付表二「36」)	1					連結欠損金の繰戻しによる還付金の個別帰属額	15	外									
算出連結法人税個別帰属額の計算						連結法人税個別帰属額(14)-(15)	16	外									
特用が連結所得金額(別表一の二(二)「1」)	2					この届出前の個別所得金額又は個別欠損金額	17										
連結所得に対する法人税率(別表一の二(二)「7」)	3					この届出前の課税個別土地譲渡利益金額	18										
算出連結法人税個別帰属額(1)×(3)	4					この届出前の連結法人税個別帰属額	19										
上記以外の場合適合						この届出の基因となった申告等により増加する連結法人税個別帰属額又は減少する連結法人税個別帰属額((16)-(19)又は(19)-(16))	20	外									
算出連結法人税個別帰属額(1)×25%相当額	5					連結欠損金個別帰属額の当期減少額(別表七の二付表二「32」)	21										
算出連結法人税個別帰属額(4)又は(5)	6					翌期へ繰り越す連結欠損金個別帰属額(別表七の二付表二「33」+「39」)	22										
連結法人税額の特別控除額の個別帰属額(別表六の二(三)「29」+別表六の二(四)「15」+別表六の二(五)「22」+別表六の二(六)「32」+別表六の二(七)「18」+別表六の二(八)「23」+別表六の二(九)「22」)	7					この届出である場合の修正申告等によるこの届出前の連結欠損金個別帰属額の当期減少額	23										
差引連結法人税個別帰属額(6)-(7)	8					翌期へ繰り越す連結欠損金個別帰属額	24										
個別リース特別控除戻税額(別表六(十一)「30」+別表六(十四)「30」+別表六(十八)「30」+別表六(二十二)「30」)	9					個別帰属額											
課税個別土地譲渡利益金額(別表三(二)「24」+別表三(二)の二「25」+別表三(三)「20」)	10					土税額の内訳	25										
同上に対する税額(25)+(26)+(27)	11					個別土地譲渡税額(別表三(二)「27」)	26										
連結法人税個別帰属額計(8)+(9)+(11)	12					同 上(別表三(二)の二「28」)	27										
個別控除税額(30)	13					所得税の額の個別帰属額(別表六の二(一)「22」)	28										
差引連結所得に対する連結法人税個別帰属額(12)-(13)	14					外国税額の個別帰属額(別表六の二(二)付表「14」)	29										
土税額の内訳						計(28)+(29)	30										
個別土地譲渡税額(別表三(二)「27」)	25					中間配当の金額	31										
同 上(別表三(二)の二「28」)	26					利益の配当(剰余金の分配)の金額(中間配当を除く。)	32										
所得税の額の個別帰属額(別表六の二(一)「22」)	28					利益又は剰余金処分による賞与の額	33										
外国税額の個別帰属額(別表六の二(二)付表「14」)	29					中間配当の効力発生の日		平成			年			月			日
計(28)+(29)	30					決算確定の日		平成			年			月			日

各連結事業年度の連結法人税の個別帰属額の届出書—連結親法人が協同組合等である連結法人の分…平十五・三・三十一以後終了連結事業年度分

税理士署名押印

「各連結事業年度の連結法人税の個別帰属額の届出書－連結親法人が協同組合等である連結法人の分」の記載要領

この届出書は、法人税法（以下「法」といいます。）第81条の25（連結子法人の個別帰属額等の届出）の規定により、協同組合等である連結親法人に係る連結子法人が、各連結事業年度に係る法第81条の18第1項（連結法人税の個別帰属額の計算）の規定により計算される法人税の負担額として支出すべき金額又は法人税の減少額として収入すべき金額、その計算の基礎その他事項（以下「個別帰属額等」という。）を記載した書類を提出する場合に使用してください。

また、この届出書は、法人税法第81条の22第2項（連結確定申告書の添付書類）の規定により、協同組合等である連結親法人が、各連結事業年度の法第81条の18第1項（連結法人税の個別帰属額の計算）の規定により計算される法人税の負担額として支出すべき金額又は法人税の減少額として収入すべき金額及びこれらの金額の計算の基礎を記載した書類（個別帰属額に関する書類）を添付する場合にも使用してください。

（注）個別帰属額の計算の基礎を記載した書類の作成に当たっては、別表二～別表十七を使用してください。

1 提出期限等

この届出書は、各連結事業年度の連結確定申告書の提出期限までに、連結子法人の本店又は主たる事務所の所在地の所轄税務署長に1通（当該連結子法人が調査課所管の場合には、2通）提出してください。

（注）連結確定申告書の提出期限の延長の承認を受けている場合には、当該延長された期限がこの届出書の提出期限となります。

2 各欄の記載要領

この届出書は、「別表一の二（二）各連結事業年度の連結所得に係る申告書－協同組合等の分」を参考に記載してください。

このほか、「連結事業年度分の 申告に係る届出書」の空欄には、更正・決定による異動があった場合には、「申告」を二重線で消し、「更正」又は「決定」と記載してください。

3 添付書類

この届出書（別表二～別表十七を含む。）の提出に当たっては、次の書類を順に添付してください。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書
- (2) 損益金処分表
- (3) 勘定科目内訳明細書
- (4) 組織再編成に係る契約書等の写し
- (5) 組織再編成に係る主要な事項の明細書